

ジョブ・カード

活用ガイド

就業経験のある方向け



これまで積み重ねたキャリアを見つめ直していきましょう!



記入方法は裏面を参照



人生100年時代、 ジョブ・カードを使って キャリア・プランをデザインしよう!

- キャリアの振り返りで得られること P2
- ジョブ・カードとは P2
- キャリアを見つめ直す P3
- キャリアコンサルティングを受ける P3
- ジョブ・カードの活用方法 P3

キャリアを振り返る

- ①これまでの職業人生を振り返る P4
- ②職務経歴を振り返る P5
- ③学習の経歴を振り返る P6
- ④大事にしたい価値観を確認する P7
- ⑤自分の「強み」と「弱み」を整理する P7
- ⑥周囲からの期待を考える P8
- ⑦プライベートに関する事項を整理する P8
- ジョブ・カード作成の流れ P20

職務経験の整理に

職務経歴シート P11

資格や学習など能力の整理に

職業能力証明(免許・資格)シート P13

職業能力証明(学習歴・訓練歴)シート P14

キャリア・プランのまとめ

キャリア・プランシート P15

○記入のポイント P 9

○記入例 P19

応募書類として

職務経歴書 P17



ひら
あしたを拓く人を創る
つく
厚生労働省 人材開発統括官

人生100年時代、 ジョブ・カードを使って キャリア・プランをデザインしよう！



人生100年時代の多様な就労・社会参加が促進される今、これまでの職業人生（キャリア）を振り返って、皆さんのが持つ**豊富な経験や能力**を明らかにすることは、例えば以下のような発見や気づきを得ることができ、**これからのキャリアを充実したものにする上で大変効果的です。**

キャリアの振り返りで得られること

- 経験に基づく能力を明確化・体系的に整理できる
 - 仕事の仕方、進め方に関する知識・スキル
 - 人との関わり方、対人応用スキル
 - 困難に打ち勝ち、状況を開いた経験
 - 問題解決や取組の推進に役立つ能力
 - 後進の育成・支援のノウハウ
 - 専門的な知識・スキルと、活用の経験 など
- これまで提供してきた価値・貢献に気づき、自信を持って自己アピールができる
- 仕事以外の場面でも活かせるスキル・能力を発見し、豊かな生活を展望できる
- 自身の価値観や、置かれた状況に合わせたキャリア・プランの見直しができる



ジョブ・カードを使って、これまで積み重ねたキャリアを振り返り、キャリア・プランをデザインしていきましょう。

ジョブ・カードとは？

ジョブ・カードは、個人のキャリアアップや、多様な人材の円滑な就職等を促進することを目的とした「生涯を通じたキャリア・プランニング」及び「職業能力証明」のツールです。職業生活又はライフイベントの節目やキャリアコンサルティングを受けるタイミングなどで作成、書き加えることで、自身のキャリア形成の履歴を生涯にわたって蓄積できます。

キャリア・プランシート
(様式1)

職務経歴シート
(様式2)

職業能力証明シート
(様式3)

キャリアを見つめ直す

- キャリアを振り返り、これまでの経験から得たことや、活かせる能力・強み、そしてこれから的人生において優先すべき事項や大事にしたい価値観などを整理することで、今後どのようなキャリアを歩みたいか、描き出すことができます。
- そこで発見したことや気づいたことを元に、キャリア・プランを更新していくことで、これからのキャリアを充実したものにすることができます。

キャリアコンサルティングを受ける

- キャリアコンサルティングとは、①これまでのキャリアや職業能力等を整理し、②これからのキャリア・プランを描いていくための相談をすることです。
- キャリアコンサルティングを受けると、ジョブ・カードの内容が深まり、充実したものとなっていきます。ジョブ・カードを書いてみたら、是非、キャリアコンサルティングを受けましょう。

国家資格 キャリアコンサルタントとは？

“はたらくことについての相談相手”となるキャリア支援に携わる専門職です。キャリアコンサルタントには守秘義務が課せられていますので、安心してキャリアの悩みをいろいろ相談してみましょう。

ジョブ・カードを書いてみる
(この時点では、未記入欄があってもOK)

キャリア
コンサルティングを
受ける

ジョブ・カードの
完成・見直し

定期的にキャリアを振り返り、見つめ直す

ジョブ・カードの活用方法

- 本ガイドを活用してキャリアを振り返り、その内容を踏まえてキャリア・プランを作成、ジョブ・カードに記入します。
- 書き上げたジョブ・カードは、生涯にわたって発展し続けるキャリアを定期的に振り返り、自身のキャリア形成を展望することはもとより、転職活動にも活用できます。
- キャリアは発展するとともに変化もします。キャリアの変化に気づき、的確に対応できるように、定期的にジョブ・カードの見直しや確認を行いましょう。

キャリアの振り返り

- ◎職務の経歴
- ◎学習の経歴（資格・訓練等）
- ◎大事にしたい価値観
- ◎活かしたい強み
- ◎周囲の人の期待
- ◎プライベート上の課題や優先事項

ジョブ・カードの完成 (キャリア・プラン作成)



職業能力 証明

- ◎ジョブ・カードを活用して就職活動

キャリア・ プランニング (生涯)

- ◎ジョブ・カードを活用し働き方や必要な能力開発を考える

※ここからの記入内容は、あなたの個人的な情報になります。記入後の本冊子は紛失しないようにしっかりと個人管理しましょう。

キャリアを振り返る ①

これまでの人生（職業人生）を振り返る

あなたが仕事を始めてから現在までを振り返り、その時どきの主な出来事とその満足度を曲線でつなげる「ライフラインチャート」を描いてみましょう。あくまで主観的な「自分のものさし」で結構です。作成手順は下記の通りです。

作成手順

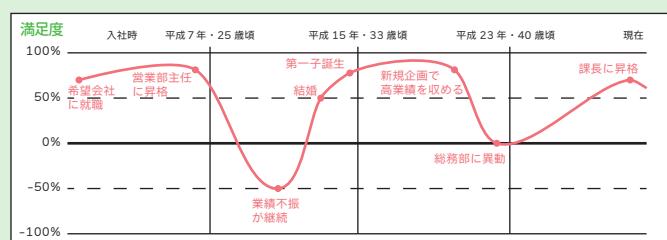
記入例を参考に、自分に影響を与えた経験・エピソードについて、時期（上の目盛りに自分で記入）と満足度（左の目盛り）を示す箇所に点をプロットし、点の横に手短かに要點を記載します。そして、各点を線で結んでください。



自分に大きな影響を与えたと思えるエピソードを3つ選び、できるだけ具体的に（いつ、どこで、何をしたか等）記入してください。

書き終えたら、上昇／降下した時の理由や気持ちを思い出してみましょう。どんな時に降下し、どんなきっかけで上昇し始めるのか、自分をより深く理解できることと思います。

記入例



順位	時期・年齢	エピソードの内容（いつ、どこで、○○があった・○○をした、どう思った）
①		
②		
③		

記入例

- 40歳。総務部へ異動となり、表舞台の華やかな仕事から裏方で支える仕事へと変わったような気がした。また、役職も課長に昇進昇格したので、急に重責を担ったように思えた。
- 30歳。子供が生まれた。責任感が増し、より一層仕事に熱が入るようになった。子供が大きくなつて自分が年を取つても、前向きにチャレンジしている姿を見せたいと思うようになった。

これまで取り組んだ職務・活動の内容と、職務の中で学んだことや得られた知識・技能等を、11ページの様式2「職務経歴シート」を使って、具体的に書き出してみましょう。

記入方法

- 雇用期間、雇用形態を記入します。就業期間が長い場合、部署ごとに記入しても構いません。
- 部下を管理していた場合は、その人数も記入しましょう。

記入のポイント

- 職務内容を具体的に書けない場合は、「1日の流れ」を思い出していくと書きやすいでしょう。
- 職務の中で得られたことは、「認められたこと・達成できた目標」はもちろん、逆に「上司に注意されたこと・失敗したこと」を思い出すことで、整理しやすくなります。
- 「ヒト・モノ・カネ・情報・時間」の視点で、個人で行っていたのか、チームとして行っていたのかを考えると、スムーズにまとめることができます。チームとして行っていたのであれば、「役割」についても記入します。

記入例

No.	期間（年月～年月） (何年何ヶ月)	職務の内容	職務の中で学んだこと、 得られた知識・技能等
	会社名・所属・ 職名（雇用形態）		
1	平成5年4月～平成15年3月 (10年 カ月)	食品加工品を全国のスーパー、デパートに卸す業務に10年間従事。平成12年から営業部主任となり、5人のメンバーをまとめた。	入社時にバブル崩壊を迎え、売上が減少の一途をたどる状況だったが、メンバーから意見や情報を引き出して対策と一緒に考えることで、困難を乗り越えることができた。この経験で、話を聞く力とリーダーシップが身についたと思う。 得られた技能
	株式会社▲▲物産 営業部 主任 (正社員)		
2	平成15年4月～平成23年3月 (8年 カ月)	デパートの催事企画に出店、出品する企業の選定から広報活動に従事。食品加工会社を10名のメンバーと共に回って埋もれている商品を調べ上げて提案し、新規の販売ルートを構築した。	デパートや広告代理店と催事企画を練る中で、新旧様々な生産会社とネットワークが築けた。その中で、関わる人が自ら考え方行動できるようサポートすることが、成果を出す上で重要だということを実体験から学ぶことができた。 得られた人脈
	株式会社▲▲物産 販売企画部 係長 (正社員)		
3	平成23年4月～ (10年 カ月)	新規・中途採用に関わる仕事を5年。全国の高校・大学の進路相談室を訪ね歩いた。新入社員研修の企画・運営を担当したのち、人事制度の見直しに携わり、評価システムの再構築を行った。	採用から教育、評価まで人事について一貫して携わり、入社した社員が成長するプロセスを間近に見ることで、会社や管理職のどのような支援があれば社員の成長を後押しできるか、ということを学んだ。 学んだこと・得られた知識
	株式会社▲▲物産 総務部 課長 (正社員)		
4			

これまでの学歴や、職業訓練・自己研鑽・学び直し等で学校卒業後に獲得してきた知識や技能、また取得した免許・資格を具体的に書き出して整理します。

免許や資格については [13ページ](#) の様式3-1「職業能力証明（免許・資格）シート」

学習歴や訓練歴については [14ページ](#) の様式3-2「職業能力証明（学習歴・訓練歴）シート」を使用してください。

記入方法

- 「免許・資格」は、免許や資格が証明している能力を記入します。免許や資格の内容について、不明な点はインターネットなどで調べて記入しましょう。
- 免許・資格を取得した理由などについて記入するのもよいでしょう。
- 「学習歴・訓練歴」は、原則として中学校卒業以降の学校、教育訓練機関での学習歴を記入します。高等学校の学歴がある場合は、高等学校からで構いません。中退でも記入します。
- 会社の内外で受講した研修やセミナーの名称、内容等も記入します。
- 注力した・自発的に取り組んだ、と思うことは、資格等に結びつかないものも記入してみましょう。

記入のポイント

記入例

様式3-2 職業能力証明(学習歴・訓練歴)シート

氏名	厚労 太郎
----	-------

No.	期間	教育・訓練機関名	内容等
		学科(コース)名	
1	平成2年4月～ 平成5年3月	東京都立霞ヶ関高等学校	選択科目のマーケティングで、実際に企業が行っているプロモーションの事例を研究し、ターゲットや提供サービスによって適した手法があることを知った。また研究を通じて、情報分析と仮説検証の手順、プレゼンテーションスキルを身につけた。
		商業科	

記入例

様式3-1 職業能力証明(免許・資格)シート

氏名	厚労 太郎
----	-------

No.	免許・資格の名称	免許・資格の実施・認定機関の名称	免許・資格の内容等
	取得時期		
3	普通自動車第一種 運転免許	東京都公安委員会	
	平成5年3月		
4	日本商工会議所 簿記検定3級	日本商工会議所	基本的な商業簿記を修得し、小規模企業における企業活動や会計実務を踏まえ、経理関連書類の適切な処理を行うために求められる知識を保有している。
	平成8年1月		

キャリアを振り返る 4

大事にしたい価値観を確認する

様式 1-1

以下の表から、自分が仕事をする上でこだわっていること（大事にしたい価値観）は何ですか。該当する番号の左の空欄に○を記入してください。複数選択可能です。

1	専門性を生かしたい	10	開発や発明等の創造性のある仕事をしたい
2	仕事の中で専門家としての能力を発揮したい	11	世の中をよくするための仕事をしたい
3	経営に関する仕事をしたい	12	医療や福祉等の人や社会に貢献できる仕事がしたい
4	管理者、経営者になることを目指したい	13	誰もが戻込みする困難な仕事にチャレンジしたい
5	自分のやり方や自分のペースで仕事をしたい	14	安定よりも挑戦を求めて仕事がしたい
6	組織で働くよりも独立して仕事がしたい	15	仕事だけではなくプライベートを大事にしたい
7	安定している組織で働き、確実な報酬を得たい	16	育児や介護休暇等が取りやすい組織で仕事をしたい
8	中小企業よりも大企業で仕事がしたい	17	その他 ()
9	新たな組織の起業や、組織の再建等の仕事がしたい	18	その他 ()

キャリアを振り返る 5

自分の「強み」と「弱み」を整理する

様式 1-1

以下の表のうち、非常に自信があるものに◎、ある程度自信があるものに○、あまり自信がないものに△、自信がないものに×を、番号左の空欄に記入してください。すべての項目に印をつける必要はありません。

1	指示を与えられたらスピーディに対応する	17	目標を決め、課題を明らかにした上で仕事の計画を立てる
2	顧客には丁寧・親切に対応する	18	自分の仕事の流れを把握する
3	手を抜かず真面目に対応する	19	仕事にミスがないかチェックする
4	異なる価値観を持つ人に偏見的な接し方をしない	20	業務にとって最低限必要な知識・技術を持つ
5	自分の仕事の約束を守り、倫理的な問題を起こさない	21	個人の意見を聞いたり、気心の知れた集団の中で意見を調整する
6	必要な情報を集める	22	相手にやってほしいことを明確に指示、要求する
7	論理的に整理された考え方や意見を出す	23	自分にできることを指導したり教育する
8	具体的情報を絵や図を用いて表現できる	24	指示を受けて協力し合うときに協調・協力の姿勢を示す
9	事実と意見を混同せず、できる限り客観的な状況判断を行う	25	自分の言いたいことや情報を正確に伝える
10	コスト意識を持って仕事に取り組む	26	自分の強み、弱み、限界を把握している
11	プレゼンテーションの準備をしっかりする	27	不満な状況に陥っても、気持ちを切り替えてすぐに前向きな対応する
12	関わる人に関心を示し、コミュニケーションを図ろうとする	28	指示されたことを勉強する
13	あまり複雑ではない、やつかいでない課題に対処する	29	自分の伝えたいことを前向きな言葉や態度で伝えている
14	気持ちの良い受け答えやマナーの良い対応をする	30	いざというときにはやる気をみせる
15	ビジネスの動向に関心を示す	31	その他 ()
16	組織の命令系統・ルールに従う	32	その他 ()

キャリア・プランを描く上で、会社や家族等から期待されていることを実現していくように考えることも大切です。周囲に期待されていることは、年齢やとりまく状況・環境によって変わっていきます。周囲からどのような期待をされているか、自分の認識を書き出し、整理してみましょう。

● 上司・同僚・部下

- 【例】上司からは部下の育成、同僚からは部署間の調整役、部下からは信頼できる上司を期待されている。
- 【例】部署を横断したプロジェクトに参加する事になり、周囲の期待に応えたいと思っている。

● 顧客・取引先

- 【例】係長時代に知り合ったA社の○○さんも人事担当となり、定期的に情報交換を求められている。
- 【例】取引先から常に新しい提案を求められている。

● 友人・家族

- 【例】家族からは、健康で働き続けることを期待されている。
子供の学費をあと数年貯う必要がある。
- 【例】友人から、人との関わりを大切にしていると感心されている。

記入のポイント

社内の人間関係だけでなく、家族や地域など、より広い関係に視野を広げてみましょう。これまで気づかなかつた新たな価値観や、やりがいが生まれる可能性もあります。



健康、マネー、家族のことなど、暮らしていく上で留意する必要のある事項は、皆さんそれぞれお持ちだと思いますが、これらの要素はキャリア・プランに大きく影響を及ぼす可能性があります。特に、仕事と両立させる必要のある事項や、優先して考えるべき課題などを書き出し、整理してみましょう。

● 健康

- 【例】50歳を迎える、若いころと比べれば無理がきかなくなってきた。
- 【例】健康診断で血圧が高めと言われたが、特になにも対処していない。



● 家族（育児・介護等）

- 【例】同居する両親は80歳を超え、この先の介護のことが気になる。
- 【例】家事と仕事、どちらも手を抜きたくないが、両立の難しさを感じている。

● マネー

- 【例】住宅ローンはあと5年で完了するが、バリアフリーのリフォームが必要になりそうだ。
- 【例】老後を考えると、今の貯蓄では不安がある。

記入のポイント

「○○しなければ」「○○すべき」といった義務や制約だけでなく、「○○したい」など、自分がやってみたいことなども、楽しみながら考えてみましょう。

キャリア・プランシート記入のポイント

ここまで取り組んできたキャリアの振り返りを元に、15ページの様式1-1「キャリア・プランシート」を作成します。文章にすることが難しい場合、まずは箇条書きやキーワードから始めてみましょう。なお、記入例は19ページにも収録しています。

◎「価値観、興味・関心事項等」

仕事をする上でのポイントとなる価値観、興味・関心事項等を記入します。

記入方法

- P.4【①これまでの職業人生を振り返る】で選んだエピソードと、「その時の理由や気持ち」から、自分がこれまでがんばってきたこと、仕事に対するこだわりややりがい等を書き出します。
- P.7【④大事にしたい価値観を確認する】で選んだ項目を踏まえて、例えば「自分は△△を重視している」というように、自分自身について気づいたことを記入します。

記入例

価値観、興味・関心事項等

(大事にしたい価値観、興味・関心を持つていることなどを記入)

営業を18年、人事を10年と、人と関わる仕事を通じて、メンバーが自ら考え行動できるようにサポートすることを大切にしてきた。特に人事での仕事において、人が育つためには会社や管理職の適切な支援が重要であることを知り、興味を持つようになった。

◎「強み等」

仕事をする上での自分の強みと、それをどう活かしていくか、また弱みをどう克服していくか等を記入します。

記入方法

- P.5【②職務経歴を振り返る】P.6【③学習の経験を振り返る】で整理した、職務経歴や学習を通じて得た知識や技能等から、活かせる、活かしたいと思う強みを書き出します。
- P.7【⑤自分の「強み」と「弱み」を整理する】で選んだ項目を踏まえ、今後仕事をしていく上で活かしたい強みと、自覚している弱みをどのように改善していくか、を記入します。

記入例

強み等

(自分の強み、弱みを克服するために努力していることなどを記入)

周囲とコミュニケーションを取り、相手の意見を尊重しながら調整を図ることは得意だと思う。一方、指示をするとき、理論的に話を進めて部下を納得させることには苦手意識を感じる。できるだけていねいに説明をし、かけ違いの起こらないよう気をつけている。

◎「将来取り組みたい仕事や働き方等」

これまで記入してきたことを踏まえ、今後やってみたい仕事（職種）や働き方、仕事で達成したいことを記入します。

記入方法

- 職務経歴シートをはじめとしたこれまでのキャリアの振り返りの結果を踏まえ、できれば5年後、10年後等、期間を区切って、キャリアの未来像を具体的にイメージして記入します。
- P.8【⑥周囲からの期待を考える】P.8【⑦プライベートに関する事項を整理する】の結果から、これから必要なこと、取り組まなければならないことも考慮した、現実的なキャリア・プランにしていきます。

記入例

将来取り組みたい仕事や働き方等

（今後やってみたい仕事（職種）や働き方、仕事で達成したいことなどを記入）

今まで培ってきた知識や経験を後進の育成に生かしていきたい。70歳まで働く必要があるので、継続雇用制度を利用することも視野に入れながら、より専門性を磨くことにもチャレンジしたい。

◎「これから取り組むこと等」

上記を実現するために習得・向上すべきと思える職業能力を考え、何をどのようにすればよいか、その方法を書いてみましょう。

記入方法

- 上記の「将来取り組みたい仕事や働き方等」を実現するために必要なことを考え、いつ何をするか、できるだけ具体的に記入しましょう。
- 優先順位を考えた上で、短期的な目標を立て、それに向けた行動のプロセスを考えましょう。

記入例

これから取り組むこと等

（今後向上・習得すべき職業能力や、その方法などを記入）

人事制度や人材育成の最新知識を得るために、通信制大学などへの進学を検討したい。そのために、活用できる給付金等の制度について情報を収集する。

◎「その他」

まだ書ききれていないことで、重要だと思うことを記入します。実現可能なキャリア・プランを考えるために、キャリアコンサルタントに相談することも効果的です。

記入例

その他

（以上から、自己PRやキャリアコンサルティングで相談したいことなどを自由記入）

専門性を身につける具体的な方法と、定年からのやりがいや生きがいを持てるような働き方について、どのような選択肢や可能性があるのか、聞いてみたい。

(第1面)

様式2 職務経歴シート

氏名	
----	--

年 月 日現在

職務経歴			
No.	期間(年月～年月) (何年何ヶ月)	職務の内容	職務の中で学んだこと、 得られた知識・技能等
	会社名・所属・ 職名(雇用形態)		
1			
2			
3			
4			
5			
6			

○氏名〔 〕の「期間、会社名・所属・職名」欄及び「職務の内容」欄について確認しました。

・会社名：

・所在地：

(期間ごとに確認する場合)

No.1について：役職・氏名()

No.2について：役職・氏名()

No.3について：役職・氏名()

No.4について：役職・氏名()

No.5について：役職・氏名()

No.6について：役職・氏名()

(同一者が全ての期間について確認できる場合)

役職・氏名()

(注意事項)

1 原則として、会社ごとに記入してください。

なお、「期間、会社名・所属・職名」欄及び「職務の内容」欄に係る会社の確認を行わない場合等は、1枚のシートに複数社の職務経歴を記入して差し支えありません。

2 本シートは、キャリア・プランシート作成時の資料、求職時の応募書類等として活用します。

3 「期間、会社名・所属・職名」欄、「職務の内容」欄及び「職務の中で学んだこと、得られた知識・技能等」欄は、本人が記入します。なお、本シートは応募書類として社外にて活用する場合があることに留意して記入してください。

4 「職務の内容」欄には、本人が従事した職務の内容とともに、可能な限り、果たした役割、貢献したこと等を記入してください。

5 所属又は職務の内容が変更されるごとに記入しますが、複数の所属の内容をまとめて記入してもかまいません。

6 会社が、「期間、会社名・所属・職名」欄及び「職務の内容」欄の内容を確認した場合、会社確認の欄に会社名、所在地と確認した担当者の方の役職、氏名を記入してください。

会社の確認は、主に、在職労働者が離職の際に、求職時の応募書類として活用するためのもので、可能な範囲で行ってください。なお、キャリア・プランニング時には必ずしも必要ありません。

記録がない等により内容の確認ができない場合は、その理由等を「役職・氏名」欄に記入してください。

7 会社の状況に応じて、全ての期間を同一者が、又は期間ごとに異なる者が確認してください。

8 会社の確認が行われていない場合は、第1面のみを応募書類等として提出してください。

9 記入しきれないときは、適宜枠の数を増やす等により記入してください。

10 本シートは、電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをもって作成することができます。

11 必要があるときは、各欄を区分し、または各欄に所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができます。

様式3－1 職業能力証明(免許・資格)シート

氏名			
No.	免許・資格の名称	免許・資格の実施・認定機関の名称	免許・資格の内容等
	取得時期		
1			
2			
3			
4			
5			

(注意事項)

- 1 「免許・資格の内容等」欄には、必要に応じて、免許・資格付与の基準・目安等も記入(又は添付)してください。
- 2 原則として、本シートを生涯にわたって活用していく中で、免許・資格の取得の都度、証明する書類等(写本)の添付を可能な範囲で行ってください。また、応募書類とする場合は、応募先の業務で必要な資格等の書類等(写本)を添付する等、可能な範囲で必要に応じて書類等(写本)の添付を行ってください。なお、キャリア・プランニング時には必ずしも必要ありません。
- 3 記入しきれないときは、適宜枠の数を増やす等により記入してください。
- 4 本シートは、電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをもって作成することができます。
- 5 必要があるときは、各欄を区分し、または各欄に所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができます。

様式3－2 職業能力証明(学習歴・訓練歴)シート

氏名	
----	--

No.	期間	教育・訓練機関名	内容等
		学科(コース)名	
1			
2			
3			
4			

(注意事項)

- 1 原則として、中学校卒業以降の学校、教育訓練機関での学習歴を記入してください。
- 2 「内容等」の欄には、教育・訓練の内容とともに、学んだこと・得られたことも記入します。
- 3 原則として、本シートを生涯にわたって活用していく中で、教育・訓練を修了した都度、証明する書類等(写本)の添付を可能な範囲で行ってください。また、応募書類とする場合は、応募先の業務で必要な修了証等の書類(写本)を添付する等、可能な範囲で必要に応じて書類等(写本)の添付を行ってください。なお、キャリア・プランニング時には必ずしも必要ありません。
- 4 記入しきれないときは、適宜枠の数を増やす等により記入してください。
- 5 本シートは、電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをもって作成することができます。
- 6 必要があるときは、各欄を区分し、または各欄に所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができます。

(第1面)

様式1-1 キャリア・プランシート(就業経験がある方用)

年 月 日現在

ふりがな		生年月日	
氏名			
ふりがな		電話	
連絡先	〒	メールアドレス	

価値観、興味、関心事項等

(大事にしたい価値観、興味・関心を持っていることなどを記入)

強み等

(自分の強み、弱みを克服するために努力していることなどを記入)

将来取り組みたい仕事や働き方等

(今後やってみたい仕事（職種）や働き方、仕事で達成したいことなどを記入)

これから取り組むこと等

(今後向上・習得すべき職業能力や、その方法などを記入)

その他

(以上から、自己PRやキャリアコンサルティングで相談したいことなどを自由記入)

キャリアコンサルティング実施者の記入欄

キャリアコンサルティングの実施日時、キャリアコンサルティング実施者の所属、氏名等

[実施日時 : 所属 : 氏名 :
電話番号 : 登録番号 :]

[実施日時 : 所属 : 氏名 :
電話番号 : 登録番号 :]

[実施日時 : 所属 : 氏名 :
電話番号 : 登録番号 :]

(注意事項)

- 1 「連絡先」欄には、連絡を希望する住所やメールアドレス等を記入してください。
- 2 「価値観、興味、関心事項等」欄、「強み等」欄、「将来取り組みたい仕事や働き方等」欄、「これから取り組むこと等」欄、「その他」欄のいずれかに記入した場合には、記入年月日を記入してください。
- 3 教育訓練関係の助成金申請の書類として活用する場合には、「キャリアコンサルティング実施者の記入欄」に、当該教育訓練の必要性に係るコメントを記入してください。
- 4 記入しきれないときは、適宜枠の幅の拡大等を行って記入してください。
- 5 本シートは、電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをもって作成することができます。
- 6 必要があるときは、各欄を区分し、または各欄に所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができます。

(ジョブ・カード準拠様式)

(第1面)

ジョブ・カード(職務経歴書)

年 月 日

ふりがな		生年月日	
氏名			
ふりがな		電話	
連絡先	〒	e-mail	

志望動機

職務経歴

No.	期間(年月～年月)	職務の内容	職務の中で学んだこと、 得られた知識・能力・スキル等 (応募書類に活かせる部分は下線)
	会社名・所属・ 職名(雇用形態)		
1			
2			
3			

(第2面)

免許・資格の内容(学んだこと、得られた知識・能力・スキル等)			
No.	免許・資格の名称	免許・資格の実施・認定機関の名称	免許・資格の内容等 (応募書類に活かせる部分は下線)
	取得時期		
1			
2			
3			

学習歴・職業訓練歴の内容(学んだこと得られた知識・能力・スキル等)			
No.	入学(入校)年月日	学校・訓練機関名	内容(学んだこと、得られたもの) (応募書類に活かせる部分は下線)
	卒業(修了)年月日	学部・学科・コース名	
1			
2			
3			

活かせる知識・能力・スキル等	
1	
2	
3	

自己PR



記入例は、こちらからも閲覧することができます。

「マイジョブ・カード」<https://www.job-card.mhlw.go.jp/pdf>

(第1面)

記入例

様式1－1 キャリア・プランシート(就業経験がある方用)

令和4年 4月 1日現在

ふりがな	こうろう はなこ	生年月日	昭和54年 12月 18日
氏名	厚労 花子	電話	03-XXXX-XXXX
ふりがな	とうきょうとちよだくかすみがせき	連絡先	〒 100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2
		メールアドレス	hanako@xxx.zz

価値観、興味、関心事項等

(大事にしたい価値観、興味・関心を持っていることなどを記入)

アルバイトで経験したレジ締めの仕事がきっかけで会計・経理に興味を持ち、経理の仕事に就いた。結婚、出産で退職後、現在はパートタイマーとして経理事務を行っている。今後、さらに経理の経験を積み、正社員としてより責任ある立場で仕事をしていきたいと思っている。

強み等

(自分の強み、弱みを克服するために努力していることなどを記入)

経理業務において最も重要な、数字の間違いに気づき、その原因をつきとめ修正することが得意。また、昨年会社が新しい経理システムを導入した際、移行作業やマニュアル作成を行うなど、初めて取り組むことに対して戸惑いながらも、自ら取り組んで部署のメンバーをサポートした。新しいことでも自分なりに工夫して取り組み、役に立てることにやりがいを感じる。

将来取り組みたい仕事や働き方等

(今後やってみたい仕事（職種）や働き方、仕事で達成したいことなどを記入)

これまでの経理のスキルをさらに伸ばしていきたい。現在は、決算業務も補助的に携わっており、今後年次決算や資金繰りなど会社の経営にかかる仕事に携わりたい。また、労務に関する知識も身につけていきたい。子供が高学年になり、今後手がかからなくなることもあるので、正社員として働きたいと考えている。

これから取り組むこと等

(今後向上・習得すべき職業能力や、その方法などを記入)

決算業務や資金繰り、労務（社会保険や人事制度等）の勉強をしていきたい。
知識・スキルを得るために、有効な資格があれば取得を目指したい（会計・経理の実務検定試験等）。

その他

(以上から、自己PRやキャリアコンサルティングで相談したいことなどを自由記入)

経理や会計業務に関わるスキルを高めていく上で、どのような資格や勉強をしていったらよいのか相談してみたい。職業訓練や給付金の制度などについても詳しく知りたい。

ジョブ・カード作成の流れ

ジョブ・カードはどの様式からでも作成することができますが、おすすめは次のようなステップです。

キャリアの振り返り

P.4~8

いきなりジョブ・カードに記載するのは難しいと思う方は、まず様々な切り口からこれまでのキャリアを振り返り、整理してみましょう。

ジョブ・カードの作成

【記入上の注意点】 シートに記載する年号は、和暦か西暦のどちらかに統一します。
学校名、企業名、資格名は、できるだけ略号を用いたり省略した記載をしないようにします。

●ステップ1 様式2「職務経歴シート」

P.11

今までの職歴を順番に記入してみましょう。

●ステップ2 様式3-1「職業能力証明（免許・資格）シート」

P.13

これまでに身につけてきた能力を整理するために、取得した免許・資格を記入してみましょう。

●ステップ3 様式3-2「職業能力証明（学習歴・訓練歴）シート」

P.14

学歴（高等学校、短大、大学、専門学校、職業訓練校等）や、学校卒業後に学んだことを記入してみましょう。

●ステップ4 様式1-1「キャリア・プランシート（就業経験がある方用）

P.15

これまでの内容を振り返りながら、P.9～10【記入のポイント】や、P.19【記入例】を参考にして記入してみましょう。また求職中の方は、各様式の中から、応募書類の作成に必要な情報をとり出して編集し、P.17【職務経歴書】に記入してみましょう。

さらなるステップ キャリアコンサルティング

P.3

ジョブ・カードを書いてみたら、是非、キャリアコンサルティングを受けてみましょう。自己理解が深まり、今後のキャリア形成の課題や目標が明確になることによって、ジョブ・カードの内容がより充実したものとなっていきます。

キャリアコンサルティングを希望される際の問い合わせ先

在職中の方



キャリア形成サポートセンター

求職中の方



ハローワーク

または

キャリアコンサルタント検索システム
(キャリコンサーチ)

全国のキャリアコンサルタントを検索
することができます。
(<https://careerconsultant.mhlw.go.jp/search/Matching/CareerSearchPage>)



(注) 専門実践教育訓練または特定一般教育訓練の教育訓練給付金の支給対象となる教育訓練の受講を希望される方は、訓練前のキャリアコンサルティングを受けていただくことが必要です。
詳しくはハローワークにお問い合わせください。

ジョブ・カード様式のダウンロード



ジョブ・カードの各様式は、こちらのサイトからダウンロードできます。

マイジョブ・カード > ジョブ・カード様式のダウンロード

https://www.job-card.mhlw.go.jp/guidance/download_blank

※様式3-3「職業能力証明（訓練成果・実務成果）シート」はこの活用ガイドに含まれていません。本サイトをご覧ください。



ジョブ・カードがつくれる、わかる
マイジョブ・カード

<https://www.job-card.mhlw.go.jp/>

